

平成30年度 東京都小学校体育研究会
多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会
実証授業

東京都小学校体育研究会 研究主題

「三つの資質・能力の関係性を明確にし、
運動や健康についての課題に
主体的・協働的に取り組む児童の育成」



授業日 平成30年10月25日（木）午後1時35分

場所 品川区立豊葉の杜学園 アリーナ
（最寄駅：東急大井町線 下神明駅）

授業 第3学年 体づくり運動「多様な動きをつくる運動」

授業者 諸星 琢也 主任教諭

講師 武蔵村山市立第四小学校 副校長 石田 玲奈 先生

今年度の多様部会の研究はコレです！



研究構想・主題について

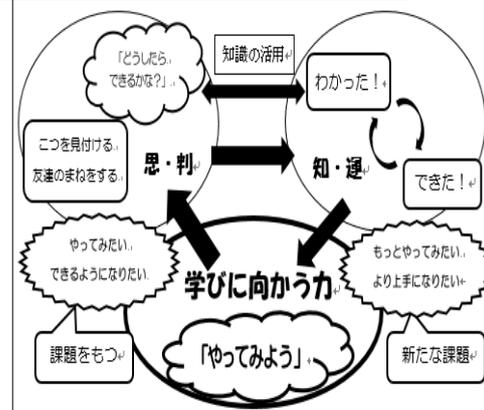


P1~4へ

視点1 具体的な学習状況

| 三つの資質・能力の具体的な学習状況 | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 知識及び運動 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 楽しい運動遊びと出会い、体の基本的な動きができる | 試行錯誤を繰り返して、課題を解決するために友達と関わり、伝え合う | いつでもどこでも、後でも、楽しく運動し、前向きに学習に取り組む |
| 第2学年 ボールを落とさないで捕ることができたよ。 | どうやってやるとうまくいくのかな？ | やってみよう！友達とも一緒にやりたいな！ |
| 第3学年 投げ上げたボールを移動しながら捕ることができたよ。 | 「これは何？教えて？」 「こうやるんだよ。」 | もっとうまくできるようになりたい！みんなでやると楽しいね。 |

視点2 三つの資質・能力の関係性



学びに向かう力が
始めよう！

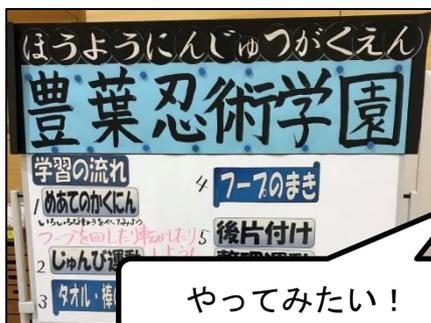


昨年度の手だて



P5~8へ

- 1 主に主体的に学ぶ児童の姿を育むために → P5、6



もっとできるようになりたい！

- 2 主に協働的に学ぶ児童の姿を育むために → P7、8

(1) よい動きを共有する時間の充実

(2) 伝え合う活動の展開

認め合い → 見合い → 教え合い

〇〇さん、姿勢いいね！

〇〇さん、すごい！
回し方が上手！

どうやったら、上手にできるの？
はじめに勢いをつけるといいよ。





今年度の手だて



P9~12へ

1 「学びを価値付ける時間」 → P9、10

昨年度「よい動きを共有する時間」 → 今年度「学びを価値付ける時間」

「何を価値付けるの？」

- ・動きのこつ
- ・行い方の工夫
- ・学び方

「どうやって価値付けるの？」

- ・児童の思考を促す発問
- ・「動きのこつ」と「工夫した動き」の違い



2 「振り返りの充実」 → P11、12

○教師の言葉掛け

その時間のねらいに沿った振り返りができるように

○学習カードの工夫

学習の積み重ねを見取る児童の考えを表現させられるもの



学習指導案・学習カード



P13~

今年度の見所！授業が二本立て！！

①序盤(2/5時)

「学びに向かう力、人間性等」へアプローチ！

②終盤(5/5時)

3年生としてのゴールイメージ！（フープ）

序盤と終盤の教師のアプローチ、育てたい児童の姿の違いは？

新しい学習カードの活用の仕方は？

1 研究主題

「三つの資質・能力の関係性を明確にし、運動や健康についての課題に
主体的・協働的に取り組む児童の育成」

多様な動きをつくる運動（遊び）部会

2 研究主題の設定理由を受けた部会の考え方

学習指導要領総則より、「三つの資質・能力」は児童がもともともっているものと捉えている。その中の、「他の二つの資質・能力をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素」と記載がある「学びに向かう力,人間性等」に着目して研究を進めてきた。多様な動きをつくる運動（遊び）のねらいである「楽しく基本的な動きを身に付けさせる」ためには、児童一人一人の「やってみたい」という運動欲求に火をつけ、「もっとやってみたい」と意欲を持続させていくことが多様な動きを身に付けることにつながると考えているからである。体育科においては、「学びに向かう力,人間性等」すなわち「主体的に学習に取り組む態度等」を中心に、他の二つの資質・能力と互いに結び付け合いながら、これら三つの資質・能力を膨らませ、育んでいきたいと考える。

3 研究の内容

(1) 研究の視点1 「三つの資質・能力の具体的な学習状況」についての考え方

「学びに向かう力,人間性等」を中心に、三つの資質・能力を互いに結び付け合いながら膨らませ、バランスよく育んでいきたいと考える。児童が多様な動きを身に付けていくためには、運動（遊び）のもつ楽しさを十分味わうことが大切である。運動（遊び）との出会いを大切に、児童の「やってみたい」という運動欲求に火をつけ、「もっとやってみたい」と意欲を持続させていくことが、多様な動きを身に付けることにつながっていくと考える。(図1)

以上のことを踏まえ、昨年度実証授業を行った第2学年及び第3学年における、三つの資質・能力の具体的な学習状況を以下のように整理した。(図2)

三つの資質・能力の具体的な学習状況

| | 知識及び運動 | 思考力,判断力,表現力等 | 学びに向かう力,人間性等 |
|------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| | 楽しい運動(遊び)と出会い、体の基本的な動きができる | 試行錯誤を繰り返し、課題を解決するために友達と関わり、伝え合う | いつでも・どこでも・誰とでも、楽しく運動し、前向きに学習に取り組む |
| 第2学年 | ボールを落とさないで捕ることができたよ。 | どうやってやるとうまいのかな？ | やってみたい！友達とも一緒にやりたいな！ |
| 第3学年 | 投げ上げたボールを移動しながら捕ることができたよ。 | 「こっは何？教えて？」 「こうやるんだよ。」 | もっとうまくできるようになりたい！みんなで作ると楽しいね。 |

9月28日(木) 第2, 3学年の実証授業
○低学年から中学年への学びの質の高まりをお見せします。

(図1)

三つの資質・能力の具体的な学習状況

| | 知識及び運動 | 思考力,判断力,表現力等 | 学びに向かう力,人間性等 |
|------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| | 楽しい運動(遊び)と出会い、体の基本的な動きができる | 試行錯誤を繰り返し、課題を解決するために友達と関わり、伝え合う | いつでも・どこでも・誰とでも、楽しく運動し、前向きに学習に取り組む |
| 第2学年 | ボールを落とさないで捕ることができたよ。 | どうやってやるとうまいのかな？ | やってみたい！友達とも一緒にやりたいな！ |
| 第3学年 | 投げ上げたボールを移動しながら捕ることができたよ。 | 「こっは何？教えて？」 「こうやるんだよ。」 | もっとうまくできるようになりたい！みんなで作ると楽しいね。 |

(図2)

さらに具体的な児童の姿を右頁の表にまとめた。

なお、下線部分の記載は昨年度の研究経過を経て、部会として追記した児童の姿である。

◎三つの資質・能力の具体的な学習状況

〈第2学年「多様な動きをつくる運動遊び」〉

| | 「児童の学びの姿」 |
|--------------|--|
| 知識及び運動 | <ul style="list-style-type: none"> ○多様な動きをつくる運動遊びの楽しい行い方を知る。 ○多様な動きをつくる運動遊びの楽しい行い方が分かる。 ○運動遊びに楽しく取り組んで経験した結果として、体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きができる。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | <ul style="list-style-type: none"> ○友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそう楽しい運動遊びや友達と一緒にいると楽しい運動遊びを選んでいる。 ○様々な種類の用具の中から自分なりに操作しやすいものや、楽しく動くことのできる運動遊びを選んでいる。 ○友達の動きを見て、見つけたよい動きや、行ってみたいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ○用具の種類を変えたり、様々な動き方を試したりして選んだ行い方を動作を交えながら友達に伝えている。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り、「いつでもどこでも誰とでも」仲よく運動しようとしている。 ○友達と協力して用具の準備・片付けをしようとしている。 ○友達の考えや取組を認めようとしている。 ○危険物が無いが、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。 |

〈第3学年「多様な動きをつくる運動」〉

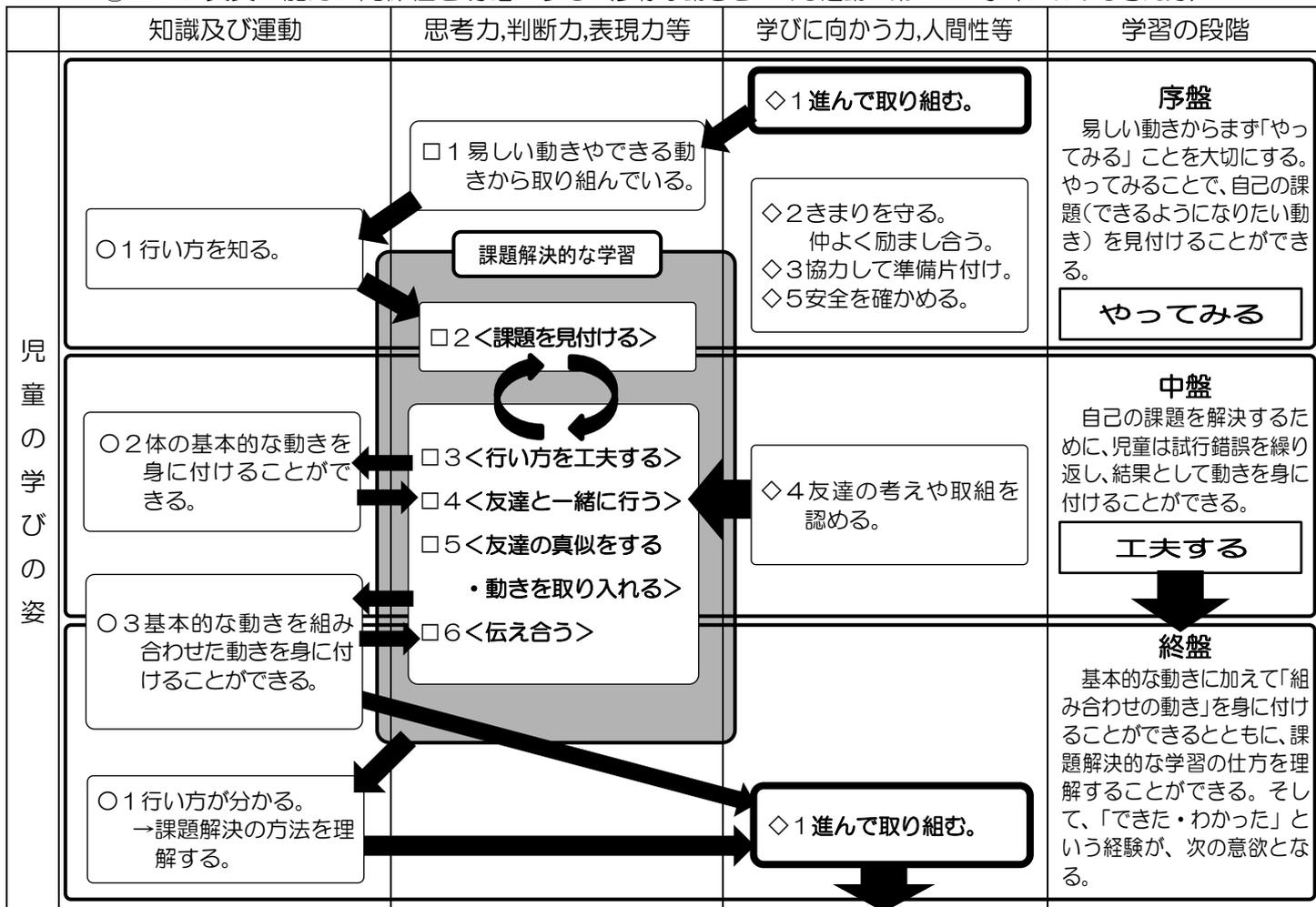
| | 「児童の学びの姿」 |
|--------------|---|
| 知識及び運動 | <ul style="list-style-type: none"> ○多様な動きをつくる運動の楽しい行い方を知る。 ○多様な動きをつくる運動の楽しい行い方が分かる。 ○楽しく運動に取り組んだ結果として、体の基本的な動きやそれらを組み合わせた動き、各種の運動の基礎となる動きができる。 ○楽しく運動に取り組んだ結果として、ダイナミックな動きや移動の仕方を工夫する動きができる。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | <ul style="list-style-type: none"> ○用具操作の仕方や行う人数など、より楽しく運動ができ、様々な動きを身に付けることができる行い方を選んでいる。 ○基本的な動きを身に付けたり、高めたりするために友達の運動の行い方を比べるなどして、自己の課題を見付けている。 ○これまでに行った運動の中から、更に行ってみたい運動を選び、人数や用具などの条件を変え、新たな運動の行い方を選んでいる。 ○友達と声を出して動きを合わせるなど、リズムやタイミングを合わせる行い方を選んでいる。 ○友達の行い方をまねしたり、それを修正したりしながら、自己に適した動き方を選んでいる。 ○これまでの学習で経験した運動の中から、みんなで行うと楽しくなる運動とコツを友達に紹介している。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ○多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り、「いつでもどこでも誰とでも」励まし合って運動しようとしている。 ○友達と協力して用具の準備・片付けをしようとしている。 ○友達の考えや取組を認めようとしている。 ○運動をする場や用具の安全性を確かめようとしている。 |

(2) 研究の視点2「三つの資質・能力の関係性と学習過程の在り方」についての考え方

昨年度明らかにしたこれらの学習状況を踏まえ、今年度は、三つの資質・能力の関係性を学習過程の中で示すことにした(表①、②)。今年度は、三つの資質・能力をバランスよく育むために、単元の序盤・中盤・終盤における課題解決の手だてとして、「学びを価値付ける時間」や「振り返り」の充実を二本柱として、教師の働き掛けについて研究することにした。

単元の序盤は「やってみる」、単元の中盤から終盤にかけては「工夫する」という段階とし、結果基本的な動きを身に付けられるようにするとともに、課題解決的な学習の仕方を理解することができる児童の姿を目指す。

①三つの資質・能力の関係性を明確にする（多様な動きをつくる運動・第3・4学年における考え方）



②三つの資質・能力の関係性を明らかにした上での学習過程（第3学年のフープを使った単元を例に）

| 時間 | 段階 | 児童の学びの姿 | | | 学習内容・活動 |
|----|-----------|---|---|--|---|
| | | 知識及び運動 | 思考力,判断力,表現力等 | 学びに向かう力,人間性等 | |
| 1 | 序盤（やってみる） | ○1 多様な動きをつくる運動の行い方を知る。 | □1 易しい動きやできる動きから取り組んでいる。 | ◇1 進んで取り組もうとしている。 | ○やってみる ・回す ・転がす ・投げる、捕る ○学びを価値付ける時間 ・よい動き ・動きのこつ |
| 2 | | | □2 課題を見付ける | ◇2 きまりを守る。 仲よく励まし合う。 ◇3 協力して準備片付けをする。 ◇5 安全を確かめる。 | ○やってみる ・回す ・転がす ○学びを価値付ける時間 ・回す+移動 ・転がす+移動 ・組み合わせのこつ |
| 3 | 中盤（工夫する） | ○2 体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けることができる。 ○3 基本的な動きを組み合わせた動き、主に移動の仕方を工夫する動きを身に付けることができる。 ○1 行い方が分かる。→課題解決の方法を理解する。 | □3 行い方を工夫する | ◇4 友達の考えや取組を認めようとしている。 | ○回す+移動の動きに取り組む ○学びを価値付ける時間 ・行い方 ・動きのこつ ・学び方 |
| 4 | | | □4 友達と一緒にいる □5 友達の真似をする 動きを取り入れる □6 伝え合う ・学びを価値付ける時間 ・振り返り ・学習カード | | ○転がす+移動の動きに取り組む ○学びを価値付ける時間 ・行い方 ・動きのこつ ・学び方 |
| 5 | 終盤（工夫する） | | | ◇1 進んで取り組もうとしている。 | ○行いたい動きを選択する ・回す+移動コーナー ・転がす+移動コーナー ○学びを価値付ける時間 ・行い方 ・動きのこつ ・学び方 |

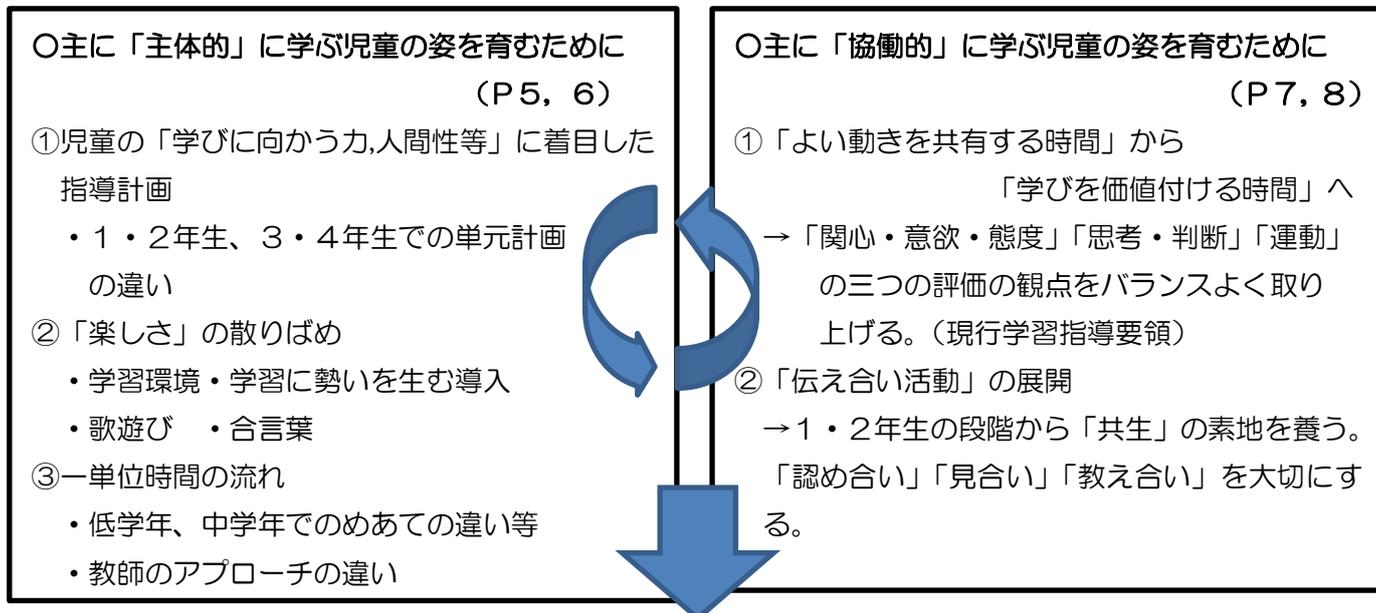
(3) 研究の視点3「三つの資質・能力を育むための指導と評価」

具体的な学習状況を学習過程の中で示すとともに、一単位時間の学習の手だてを明確にする。指導と評価は一体であるとの考え方から、評価を次の指導に生かすために、毎時間の児童の形成的評価や動きの表出を見取ることが大切であるとする。

4 手だて設定について

(1) 昨年度までの手だての設定

昨年度は運動遊びと運動における主体的・協動的な児童の学習状況を明確にするために、以下の手だてを考えた。



これまでの本部会の研究の成果や新しい学習指導要領の考え方をもとに、今年度の視点2「学習過程の在り方」に迫るための手だてを<児童が主体的・協動的に課題解決を図れるようにするための教師の働き掛け>として以下のように考えた。

(2) 今年度の手だての設定

①「学びを価値付ける時間」のさらなる充実⇒(P9, 10参照)

「動きのこつ」や「行い方の工夫」に関わる、よい動きだけでなく、学び方(学びに向かう力,人間性等や思考力,判断力,表現力等にかかわることも含む)も価値付け、児童の主体的・協動的に学ぶ姿を促す。単元の序盤では学びに向かう力,人間性等を、中盤では思考力,判断力,表現力等を、終盤では知識及び運動を重点に、一単位時間のねらいに基づいた児童の姿を取り上げ、共有し、学びを価値付けた。

<教師の働きかけ>

○児童の思考を促すための発問を考える。

○よい動きの捉え方として、「動き」と「行い方」の違いを明確にして価値付ける。

○一生懸命取り組んでいる児童や、互いを認め合ったり、動きや行い方を見合ったり、教え合ったりする姿を価値付けする。今年度はさらに、自分が感じたままの動きのこつを自分の言葉で表現できるように伝え合う姿を価値付ける。

②「振り返り」の充実(学習カードの工夫)⇒(P11, 12参照)

児童が学習を振り返る中で、自身が「何ができるようになったのか」を意識できたり、学習した内容を次時や他領域で生かしたりするために、より効果的な学習カードを考えた。

<教師の働きかけ>

○自身がねらいを明確に提示し、そのねらいにそった言葉掛けを行う。そして、「学びを価値付ける時間」の内容や振り返りの中身を書けるような言葉掛けを行う。

主に「主体的」に学ぶ

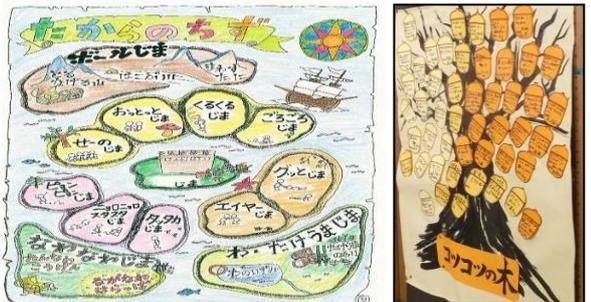
(1) 児童の「学びに向かう力,人間性等」に着目した指導計画

多様な動きをつくる運動(遊び)のねらいは、多様な動きを楽しく経験しながら基本的な動きを身に付けることである。どの学年においても児童の運動欲求に火をつけ、思考力,判断力,表現力を耕しながら多様な動きを経験していくことで三つの資質・能力をバランスよく育み、結果として基本的な動きが身に付くことを目指していく。学年ごとにねらいを重点化し、段階的に動きを身に付けるようにする。

| 学年 | 段階 | ねらい |
|----|-----|--|
| 1年 | 知る | 「やってみたい」という運動欲求に火をつけることを大切に、学習指導要領解説に例示されている多様な動きを楽しく経験する。 |
| 2年 | 広げる | 場や用具を選んだり、経験した動きやできるようになった動きの行い方を工夫したりして楽しく動きを広げる。 |
| 3年 | 増やす | 第3学年から新たに例示されている動きや経験してできる動きを増やしていく。さらに基本的な動きを組み合わせる運動を経験して、できる動きを増やす。 |
| 4年 | 高める | 基本的な動きを組み合わせた動きを身に付け、動きをさらになめらかにしたり、行い方を工夫したりしながら、動きの質を高める。 |

(2) 楽しさの散りばめ

一単位時間の中に多様な動きをつくる運動(遊び)部会が考える「楽しさエキス」を授業の中に散りばめていく。授業では主に①学習環境(単元設定、場、用具、教材の工夫)、②学習に勢いを生む導入を生む導入、③歌遊び、④合言葉など、児童が夢中になって運動遊びや運動に取り組めるような「楽しさ」を一単位前半の中で散りばめていく。児童の「やってみたい!」「もっとやってみたい!」という運動欲求に火をつけるための仕掛けと考えている。

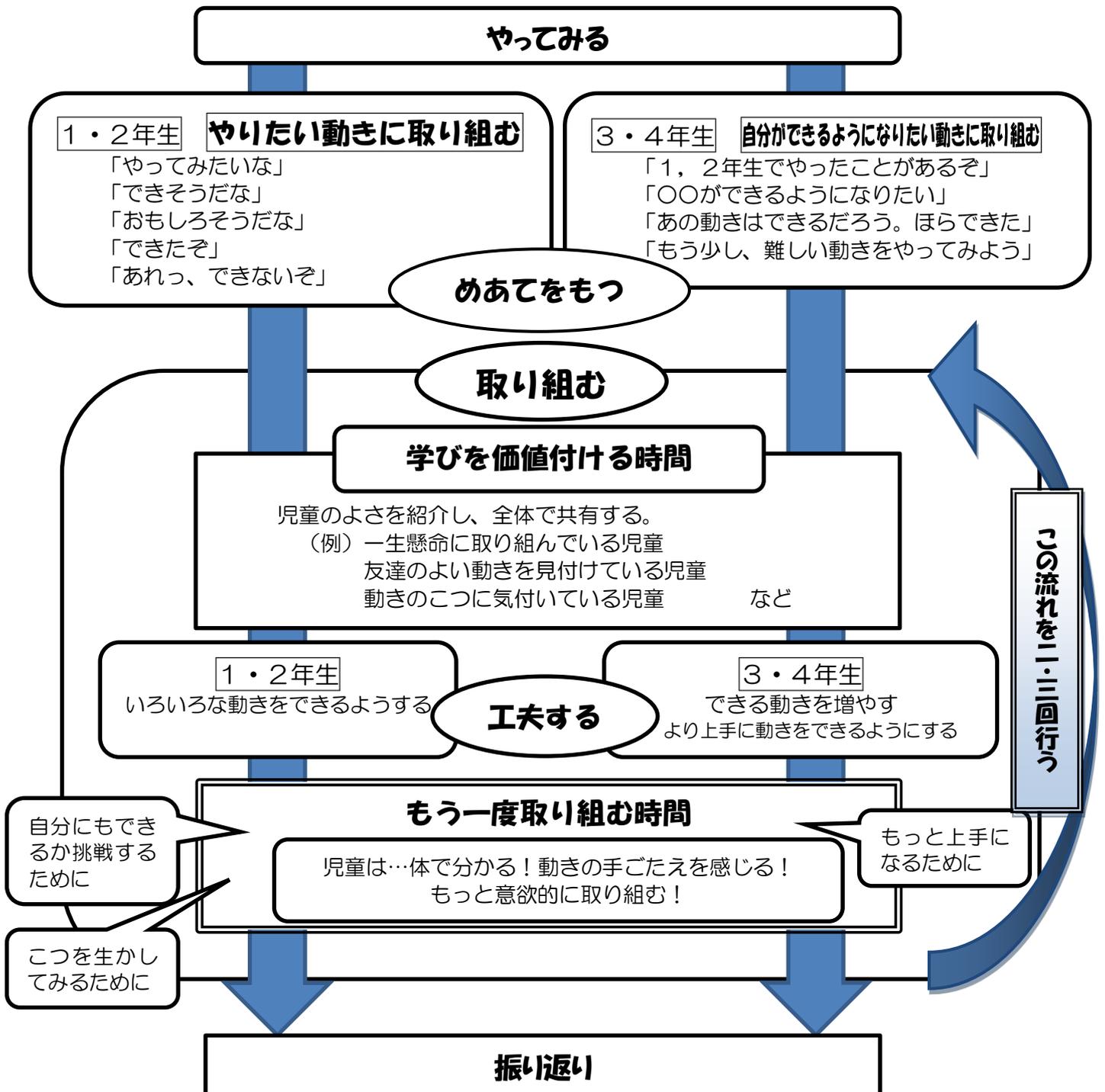
| ①学習環境 | ②学習に勢いを生む導入 |
|---|---|
| <p>【わくわくするような単元設定 掲示物の例】</p>  <p>※単元設定や教材、場、用具などを工夫して、楽しい雰囲気をつくることで、児童の運動欲求に火をつける。</p> | <p>心と体をスイッチオン!</p> <p>☆端的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で指示・説明(運動量の確保) ・活動と活動のつなぎ(体じゃんけんの活用) <p>☆解放感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは先生と楽しく、色々な動きを楽しむ ・友達同士が関わる動き(2人組、ハイタッチ) <p>☆動きの要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプ、スキップ、ダイナミックな動き <p>☆音楽・リズム太鼓等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BGMを活用した準備運動、場の準備・片付け等 |
| ③歌遊び | ④合言葉 |
| <p>「幸せなら手を叩こう」(座る・立つ)</p> <p>♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら 背中をつけようよ～ ♪ほらみんなであって(すわって)みよう せーの! ※二人組で背中をくっつけたまま立ったり座ったりする。</p> <p>「人工衛星」</p> <p>♪人工衛星 人工衛星 と～ま～れ ※4～5人で手をつなぎ、引っ張り合って相手を動かす。</p> <p>※歌の中に身に付けさせたい動きを取り入れ、リズムの楽しさを味わいながら効率的に運動できるようにする。</p> | <p>いつでも どこでも だれとでも!</p> <p>☆活動に勢いをつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OO^ レッツゴー!」 ・「やってみよう!」 <p>☆楽しい雰囲気のまま指示を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トントトン トントトン 聞いて」 ・「お友達を変えて お友達を変えて O人組」 <p>☆みんなで友だちを称賛する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せ～の」 パンパン ナイス!!! ・「せ～の」 キラーン!!! |

児童の姿を育むために

(3) 一単位時間の流れ

行い方を工夫しやすく、楽しみ方の種類が多い「用具を操作する運動（遊び）」や「基本的な動きを組み合わせる運動」を一単位時間の後半に位置付け、課題解決を十分に図ることができるように単元を構成した。一単位時間の後半部分（概ね 25～30 分間程度）の学習の流れを次のように構築した。

1・2年生の児童は、初めて出会う運動遊びに「やってみたい!」という思いをもち、様々な運動遊びを通して、基本的な動きを身に付けていく。3・4年生の児童は、1・2年生の経験をもとに、「〇〇ができるようになりたい」という自分のめあてをもち、試行錯誤しながら課題を解決し、基本的な動きを身に付けていく。



主に「協働的」に取り

(1) 学びを価値付ける時間

目的 “上手にできた動き” や “行い方の工夫” を価値付け、全体で共有する。

第1・2学年 友達の動きに目を向けさせ、動きをまねしたり、よい動きを見付けたりできるようにする。

第3・4学年 友達のよい動きを見付けたり、自分の動きに取り入れたりできるようにする。

共有する内容を態度や思考・判断まで広げ、三観点の姿を単元の中でバランスよく取り上げることが大切にした。(現行学習指導要領) 進んで運動に取り組む姿や一生懸命に取り組む姿を単元の導入で重点に取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育てていけると考えた。

よい動きとは・・・①例示の動き“上手にできる” ②行い方の工夫“いろいろできる”

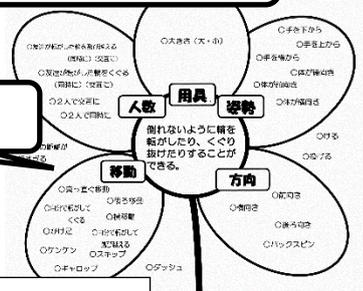
学びを価値付ける時間

<授業前の準備>

どんな姿を共有の時間に取り上げるかを考える。

→「よい動きの花」を活用 *都小体研 HP 多様部会
「H28 授業ヒントシート集」参照

今日はこの動き!



<やってみる時間>

自由に動きに取り組んでいる中で、取り上げたい動きや行い方が出現しているか観察する。

出現した!

学びを価値付ける時間に取り上げる

出現しない

意図的な言葉掛け、教師がやってみる
「こんな動きできるかな?」
「もっとこうしてみたら?」

学びを価値付ける時間

<共有するタイミング>

- 児童が十分に遊びを楽しんだ状態
- 少し動きに飽き始めている状態
- 動きの工夫・広がり停滞している状態
- 取り上げたい動きや姿が出現したとき

主体的に学習に取り組む態度

- 何度も、繰り返しフープを転がしたり、くぐろうとしたりしている。
- 一生懸命にフープを回そうとしている。
- 友達と協力、助け合っている、楽しく一緒に取り組んでいる。

思考力、判断力、表現力等

- 友達に声掛けをしている。
- 友達の動きをまねしている。
- よい動きを取り入れている。
- 友達のよい動きを見付けている。
- 友達に動きのこつを教えている。
- できた動きや行い方の工夫を友達に伝えている。

知識及び運動

- 例：フープ
- 倒れないようにフープを転がしている。
 - 手首のあたりでフープを小さく回している。
 - いろいろな回し方をしている。
 - 何度も倒れないように転がすことができる。
 - 移動しながら回すことができる。

いつ 何を

どこで

どうする

全体で共有：
中央に集合、その場で座る
グループで共有：
グループごとにその場で集合

- 教師主導で価値付ける
「ひざをグッとしているところがいいね」→**体の部位**+**オノマトペ**で表現
- インタビュー形式
「どうやったらできるようになったの?」
- 上手なところに気付くような言葉掛け
「どんなところが上手かな?」
- 複数の動きのこつや行い方の工夫に気付くような言葉掛け
「共通しているところを見付けられたかな?」「何が違うかな?」

組む児童を育むために

(2) 「伝え合い活動」の展開

学習指導要領には、本部会が重視する「学びに向かう力、人間性等」の中に、「共生」の視点が明記されている。本部会では、児童同士が関わり合って学習する力を育むために、低学年から「共生」の素地を養いたいと考え、「伝え合い活動」の在り方について検討した。

本部会では、主に「学びを価値付ける時間」で、この「伝え合い活動」を試みたい。授業の勢いを大切に考え、楽しく運動（遊び）に取り組んでいる児童の意欲を持続させたいと考えるからである。

教師が価値付けていく「伝え合い活動」の段階は、次の3つと考えた。

(1) 認め合い

児童が運動に関心を持ち、意欲的に取り組むことができるよう、学習に向かう力を中心に認めて称賛する。運動に対して積極的な児童を取り上げて価値付けることで、運動に対して意欲的ではない児童にも運動の楽しさや学び方、安心感などを知り、体感できるよう方向付ける。誰とでも仲よく、友達の考えを認め合える「共生」の素地を養う。

- 例)
- ・素早く並ぶことができる。
 - ・用具などを進んで準備したり片付けたりしている。
 - ・友達と仲良く関わろうとしている。
 - ・一生懸命運動をしている。
 - ・できなくても、何度も取り組んでいる。

称賛を中心に、
価値付けたい姿を全体で共有する。

「認め合い」という「共生」の素地を養うことで、肯定的で楽しい学習環境となる。こうした取組を積み重ねることによって、「考えたことを他者に伝える」能力を育むことにつながると考えた。

(2) 見合い

友達の動きを全体で取り上げ、称賛することで、児童が他者の行動を意識するように仕掛ける。「すごい!」「カッコいい」など、「やってみたい」から動きが広がるようにしていく。また、なかなか友達を意識しない児童には、教師の意図的な価値付けや言葉掛けにより、意識するよう支援をする。



< 1・2年生 >

(3) 教え合い

動きのこつをつかんでいる児童や行い方の工夫をしている児童を取り上げ、全体で共有する。自分が見つかったこつを友達に伝えたり、こつを友達に聞いたりする。さらに、行い方を工夫したことで変化する動きのこつを友達に伝え、自分のこつを言葉で表現する。これらの姿を共有することで、体のどの部位に着目すればよいのか、動きにどんな広がりがあるかを知ることにつながる。児童が友達のよい動きを真似して取り組んだり、「これがよい動きだ」と目で見て実際にやってみたりすることを通して、基本的な動きを身に付けていくことを目指す。



< 3・4年生 >

6 「三つの資質・能力の関係性を明らかにした学習過程の在り方」のための手だて
「学びを価値付ける時間」

昨年度「よい動きを共有する時間」→今年度「学びを価値付ける時間」

動きや行い方だけでなく、学び方（学びに向かう力、人間性等や思考力、判断力、表現力等にかかわることも含む）も価値付け、児童が主体的・協働的に学ぶ力を育むために、昨年度の「よい動きを共有する時間」から「学びを価値付ける時間」に変更した。単元の序盤では学びに向かう力、人間性等を、中盤では思考力、判断力、表現力等を、終盤では知識及び運動に焦点を当てて、一単位時間のねらいに基づいた児童の姿を共有し、学級全体の学びとして価値付けていく。

学習活動

- 1 めあてを確認する。
- 2 準備運動をする。
- 3 用具を操作する運動に取り組む。
(棒)

〈課題解決的な学習〉

- 4 基本的な動きを組み合わせる運動に取り組む。(フープ)
やってみる

↓
めあてをもつ

課題(めあて)をもって取り組む

学びを価値付ける時間

行い方を工夫する

友達と一緒にやる

友達の真似をする・動きを取り入れる

もう一度取り組む

- 5 後片付け、整理運動をする。

- 6 振り返りを行う。

「学びを価値付ける時間」について

一単位時間のねらいに基づいた児童の姿を取り上げ、共有する時間。(段階によって取り上げる内容は変わる。)

「動きのこつ」

どうやったらできたのかという体の動かし方。

「行い方の工夫」

動きのレパートリー(種類)やバリエーション。
(姿勢、方向、人数、リズム、移動などの変化)

「学び方」

学びに関わること全般。

共生の素地。(認め合い、見合い、教え合い)

○児童の思考を促すための発問

例:「どうやったらできるようになったの?」

○よい動き(知識及び技能)の捉え方として、「動きのこつ」と「行い方の工夫」の違いを明確にした価値付け

例:「フープを回しながら移動するときのこつは何?」

例:「フープを回しながらスキップもできるんだね!」

○学び方(学びに向かう力、人間性等や思考力、判断力、表現力等にかかわること)の価値付け

例:「友達のかっこいい動きを見合っていていいね!」

例:「他にもかっこいい動きをしている友達がいたら教えてね!」

学びを価値付ける時間の内容

(第3学年：フープの例)

何を

※●は、「学びを価値付ける時間」で重点として共有し、全体の学びとして価値付けていく。

| 時間 | 段階 | 学び方 | 行い方 | 動きのこつ |
|----|---------------|--|--|---|
| 1 | 序盤 (やってみる) | <ul style="list-style-type: none"> 一生懸命、運動に取り組もうとしている。 何度も繰り返しフープを回したり、転がしたりしている。 態度面（話を聞く姿勢、友達と運動を楽しんでいる、できなくてもできなくても何度も運動をやっている） きまりを守り、友達と仲よく励まし合っている。 協力して、準備や片付けをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 回す (右手、左手、腰、足、首、ひざ、右手⇄左手) 転がす (前向き、横向き、後ろ向き、片手、両手、バックスピン) 投げる, 捕る (片手、両手、一回転して、タッチして、手をたたいて、高いところで、低いところで) | <p>回す</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初に勢いよくフープを回すといいよ! <p>転がす</p> <ul style="list-style-type: none"> 手をそろえて、前に押し出すようにするといいよ! <p>転がす<バックスピン></p> <ul style="list-style-type: none"> 手首を上から下に押し出すといいよ! |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 回す+移動 (歩きながら、走りながら) 転がす+移動 (歩きながら、走りながら) | <p>移動</p> <ul style="list-style-type: none"> 回し始めてからすすむといいよ! 回してから、転がしてから、歩いたらいいよ! 回すリズムと、移動する(歩く、走る)リズムを合わせるといいよ! 転がる速さと同じくらいのスピードで、移動する(歩く、走る)といいよ! |
| 3 | 中盤 (工夫する) | <p>○共生の素地 (認め合い、見合い、教え合い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に声掛けしている (「いいね」「上手だね」) 友達の動きをまねしている。 友達のよい動きを見付けている。 動きのこつや行い方の工夫を取り入れている。 「〇〇さんの□□が上手」 「〇〇さんがこんな工夫をしている」 友達に行い方の工夫や動きのこつを聞いている。 「どうやってやるの?」「こつを教えて?」 友達に動きのこつを教えている。 「こうやったらできたよ!」 | <p>回す</p> <ul style="list-style-type: none"> 回す+移動の工夫 (歩き、ケンケン、後ろ歩き、スキップ、横歩き、ジグザク、後ろ) 回す<行い方の工夫>+移動 (右手、左手、足、後ろ向き、2人組、リズムを変えて) | <p>移動</p> <ul style="list-style-type: none"> 回し始めてからすすむといいよ! 回してから、転がしてから、歩いたらいいよ! 回すリズムと、移動する(スキップ、横歩き、ジグザク、後ろ)リズムを合わせるといいよ! 転がる速さと同じくらいのスピードで、移動する(スキップ、横歩き、ケンケン)といいよ! |
| | | | <p>転がす</p> <ul style="list-style-type: none"> 転がす+移動の工夫 (スキップ、横歩き、ケンケン) 転がす<行い方の工夫>+移動 (右向き、左向き、バックスピン、くぐる、とぶ) | <p>行い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と「せーの」って言いながら回してから、移動するといいよ!(2人組) 友達の動きに身を任せて回してから移動するといいよ!(2人組) フープの横からくぐると、くぐりやすいよ!(くぐる) |
| 5 | 終盤 (工夫する) | <ul style="list-style-type: none"> 進んで運動に取り組もうとしている。 何度も、フープを転がしたり、回したりしている。 | <p>※第5時では、第4時で取り上げなかった行い方を取り上げる。 児童がやってみたい行い方に取り組む。</p> | <p>※動きのこつを言語化させる。 「フープを回しながら・スキップするときは、なんか上にいくときに同時に手と足を動かすとできるよ!」</p> |

6 「三つの資質・能力の関係性を明らかにした学習過程の在り方」のための手だて

「振り返りの充実」

児童が学習を振り返る中で、その時間で学んだことやできるようになったことを意識できることが求められている。児童自身が自分の今の状態を自覚し、課題を修正したり新たな課題を設定したりするという課題解決のプロセスを繰り返すことが大切である。そこで今年度は、振り返りの充実を行い、更に児童の主体的・協働的な学びにつなげようと考えた。

また、一単位時間の授業にはねらいがあり、教師はそれに沿った言葉掛けをしたり、「学びを価値付ける時間」でよい動きを共有したりする。振り返りも同じように、ねらい（めあて）に沿った振り返りを行い、一貫性のある指導を行っていくこととした。

（１）振り返りを充実させるための教師の言葉掛け

＜一単位時間の後半の流れ＞

やってみる



めあてをもつ



課題（めあて）をもって取り組む



学びを価値付ける時間



もう一度取り組む



振り返り

- ・できたこと・できなかったこと・こまではできた！など達成状況を児童が把握する。
- ※児童は何ができるようになったかを振り返るとともに、次時の課題（めあて）を設定する

「やってみる」

T「フープを使ってどんな動きができるかな。やってみよう！」

「めあてをもつ」

T「もっとやってみたい！できるようになりたいと思った動きをめあてとして運動しよう！」

「課題（めあて）をもって取り組む」

T「上手だね！どうやったらできるの？」

C「フープの回しはじめはシュって勢いをつけて回すといいよ。」

T「なるほど！フープを回す時に勢いをつけると腕で回せるんだね！」

「あとで紹介してね！」

「学びを価値付ける時間」

T「〇〇さんがかっこいい動きをしていたよ！やってみせて！」

「〇〇さんのどこがよかった？」

C「腕で回してながら歩いてきたよ！」

T「どうやったらそんなに上手にできるの？」

C「まずは勢いをつけて回して、安定してきたらゆっくり歩くとうまくいくよ。」

T「なるほど！みんなもやってみよう！」

「もう一度取り組む」

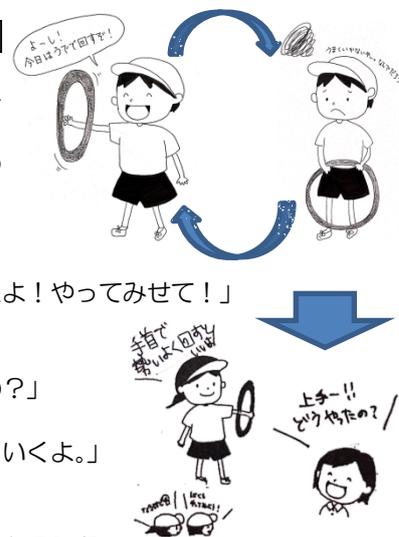
T「さっき友達が教えてくれたコツやよいところを真似しながら、もう一度運動してみよう！」

「振り返り」

T「今日の自分のめあてに対して、できた動きや見付けたよい動きのこつを学習カードに書こう」

「前回と比べてできたことやできなかったことも振り返ろう」

「友達のよかったところや、友達に教えたことがあったら紹介してね」



（２）学習カードの工夫

学習カードは学習の積み重ねであり、児童が自分の考えていることを表現できる場の一つである。また、教師は一単位時間で身に付けさせたいことや児童に考えさせたいことなど、カードの設問をねらいに沿った文言にすることで指導の方向性を示すことができる。

夏季合同研究会では児童の実態と教師のタイプに合わせて活用できるように様々な学習カードを提示するとともに、参観した先生方と一緒に考え、本部会では以下のような学習カードを作成した。

今年度の学習カードのよさ

- ・単元に入る前に「学びに向かう力、人間性等」で大事にしたいことをチェックし、学習へ前向きに取り組む土台づくりをする。
- ・単元のテーマ（忍者の修行）と連動させ、児童が楽しみながら学習に取り組むことができるようにする。
- ・教師が一単位時間で児童に身に付けさせたい・考えさせたいことに合わせて、めあてを設定する。
- ・児童が見付けたこつや考えたこと、友達のよい動きなどを吹き出しやイラストの体の部位などに印をつけるなど、児童の言葉で書き込むことができる。
- ・文章を書くことが苦手な児童でも絵で表現することができる。

第3学年体育科学学習指導案

日 時：平成30年10月25日（木）

13：35～14：05 14：10～14：40

場 所：品川区立豊葉の杜学園 アリーナ

学 級：第3学年1組29名（2／5）

第3学年2組29名（5／5）

指導者：諸星 琢也

（1）単元の目標

| | |
|----------------|--|
| 知識及び運動 | 多様な動きをつくる運動の行い方を知ることができるようにするとともに、体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しをしたり、それらを組み合わせて運動をしたりすることができるようにする。 |
| 思考力, 判断力, 表現力等 | 自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に運動をしたり、考えたことや見付けたことを友達に伝えたりすることができるようにする。 |
| 学びに向かう力, 人間性等 | 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 |

（2）単元の評価規準

| 観点 | 単元の評価規準 | 学習活動に即した評価規準 |
|---------------|--|---|
| 知識及び技能 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。 体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しをしたりするとともに、それらを組み合わせて運動をすることができる。 | <ol style="list-style-type: none"> 多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。 姿勢や方向、人数を変えて、バランスをとる動きができる。 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、体を移動する動きができる。 巧みに用具を操作する動きができる。 力を出し切ったり、力の入れ方を加減したりする動きができる。 基本的な動きを組み合わせた動きができる。 |
| 思考力, 判断力, 表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に運動をしたりしている。 考えたことや見付けたことを友達に伝えている。 | <ol style="list-style-type: none"> 自己の課題を見付けている。 人数や用具などの条件を変えて運動をしている。 友達と動きを合わせる行い方を選んでいる。 友達の行い方を真似したり、それを修正したりしながら、自己に適した行い方を選んでいる。 動きのこつやポイント、行い方について、考えた見付けたりしたことを友達に伝えている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 | <ol style="list-style-type: none"> 運動に進んで取り組もうとしている。 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合って運動をしようとしている。 友達と協力して用具の準備や片付けをしようとしている。 友達の考えや取組を認めようとしている。 運動する場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 |

(3) 評価計画

| 時間 | | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | |
|---------------|--|--|----|----|------|----|--|
| 段階 | | 序盤 | | 中盤 | | 終盤 | |
| | | やってみる | | | 工夫する | | |
| 学習内容 | | ○用具を操作する運動（タオル・棒）（フープ） ○基本的な動きを組み合わせる運動（フープ+移動） | | | | | |
| 観点 | 評価規準 | 具体的な児童の姿 | | | | | |
| 知識及び技能 | ○運動の行い方を知っている。 ○用具を操作する動きやそれらを組み合わせ合わせた動きができる。 | ○多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。【観察】 ○タオルや棒を振ったり、投げたりすることができる。【観察】 ○フープを回しながら歩いたり走ったり、フープを転がし、転がるフープの中をくぐり抜けたり、跳び越したりすることができる。【観察】 | | | | | |
| 思考力、判断力、表現力 | ○自己の課題を見付け、その課題を解決するために運動の行い方を選んだり、友達と一緒に運動したりしている。 ○考えたことや見付けたことを友達に伝えている。 | ○自己の課題を見付けている。【観察・発言・学習カード】 ○人数や用具などの条件を変えたり、友達と動きを合わせる行い方を選んだりして運動している。【観察・発言・学習カード】 ○友達の行い方を真似したり、それを修正したりしながら、自己の適した行い方を選んでいる。【観察・発言・学習カード】 ○動きのこつやポイント、行い方について、考えたり見付けたりしたことを友達に伝えている。【観察・発言・学習カード】 | | | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 | ○いろいろな運動に進んで取り組もうとしている。【観察・学習カード】 ○きまりを守り、励まし合って運動しようとしている。【観察・発言・学習カード】 ○友達と協力して準備や片付けをしようとしている。【観察】 ○友達の考えや取組を認めようとしている。【観察・発言・学習カード】 ○場や用具の使い方や周りの安全を確かめて運動している。【観察】 | | | | | |
| 重点評価 | 知識及び技能 | | | | | ○ | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | | ○ | ○ | ○ | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | ○ | | | | ○ | |

(4) 運動の特性

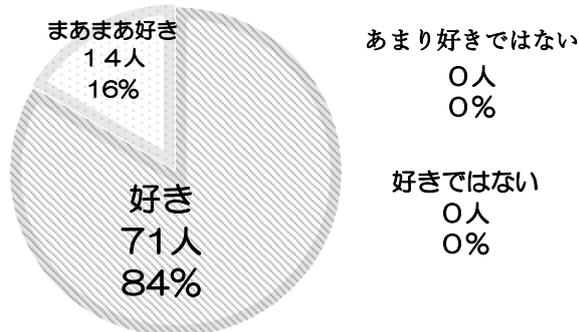
- 体のバランスをとったり移動したりする動きや用具を操作したり力試しをしたりして体の基本的な動きを培う運動である。
- いろいろな運動を通して、動くこと自体の楽しさや心地よさを感じる運動である。
- 夢中になって運動に取り組むことで楽しさや喜びを味わうことができる運動である。
- 友達と一緒に運動に取り組むことで楽しさや喜びを感じることができる運動である。
- 運動の行い方を工夫したり、新しい動きを考えたりしたときに楽しさを味わうことができる運動である。
- 易しい動きから難しい動きができるようになることで、喜びを感じることでできる運動である。

(5) 児童の実態

品川区立豊葉の社学園 3年生 (85人)

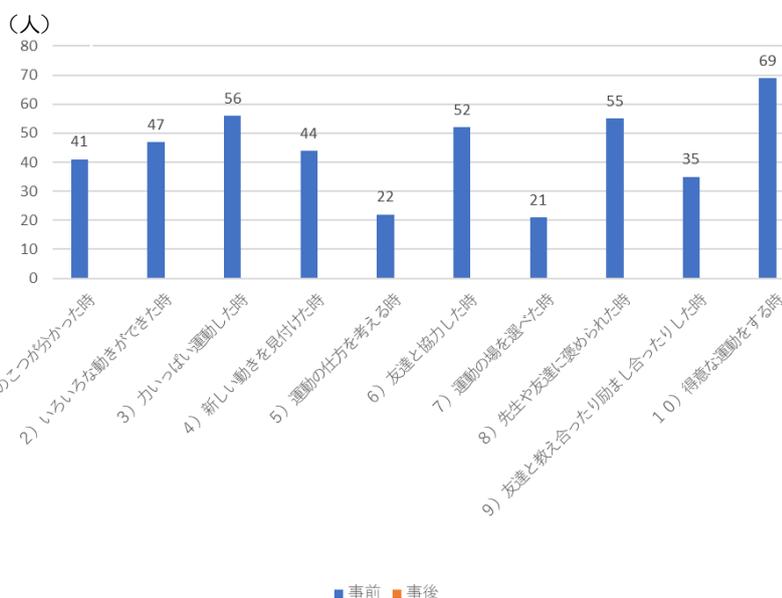
①あなたは体育の学習や運動が好きですか？

■好き ■まあまあ好き ■あまり好きではない ■好きではない



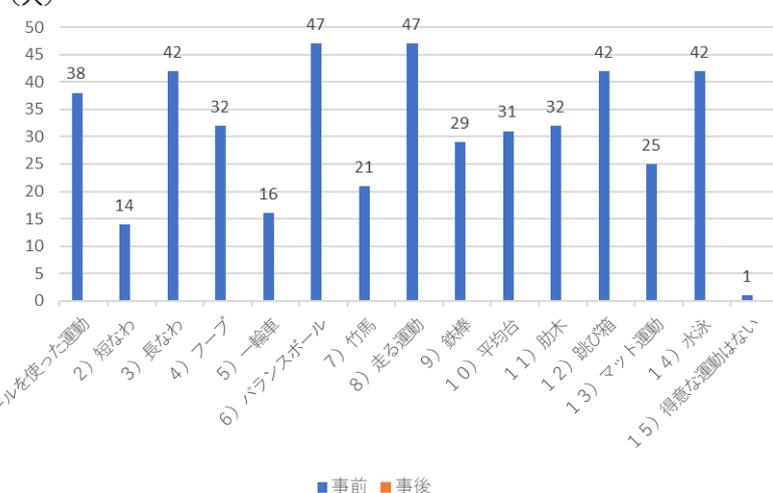
○約8割の児童が「好き」と回答し、約2割の児童が「まあまあ好き」と回答した。体育学習に否定的な児童はいなかったことから、体育学習に好意的な児童集団ということがいえる。

②どんな時が楽しかったですか？（複数回答可）



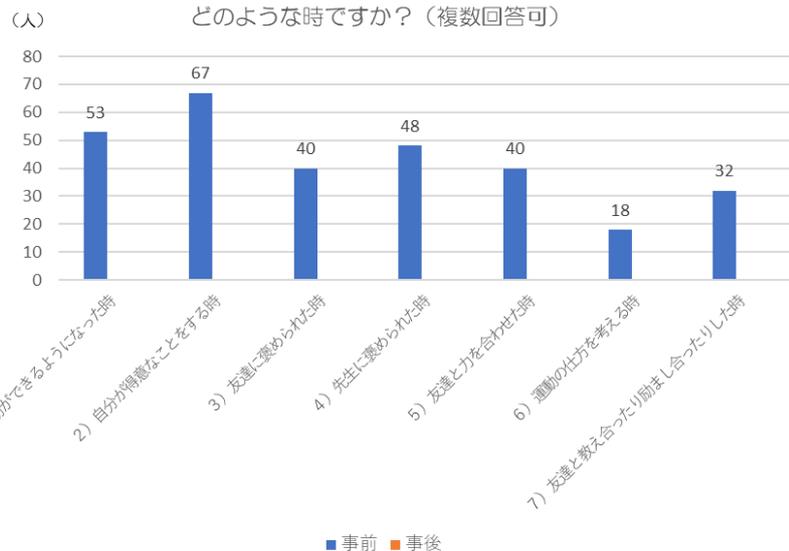
○「得意な運動をする時」「力いっぱい運動した時」「先生や友達に褒められた時」「友達に褒められた時」「友達と協力した時」に楽しさを感じている児童が多い。特定の技能を求めない体づくり運動を通して、自分の思い通りに体を動かすことで、さらに運動の楽しさを味わわせたい。また、運動の仕方を考えたり、場を選んで運動したりする楽しさにも触れさせたい。

⑤好きな（得意な）運動は何ですか？（複数回答可）



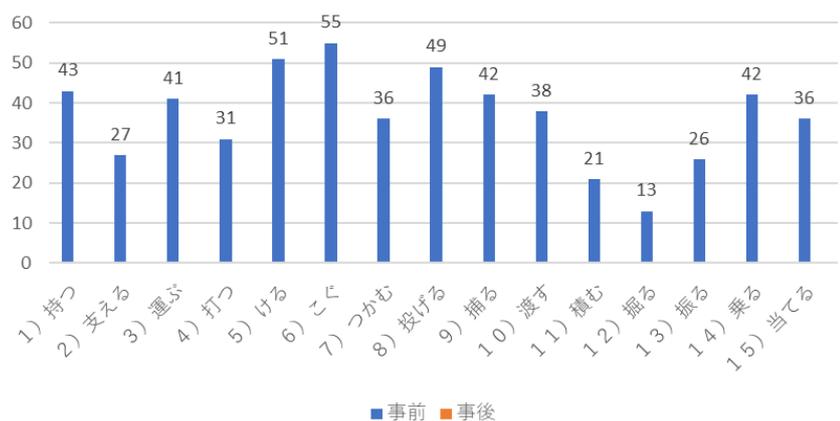
○「バランスボール」「走る運動」「長なわ」「跳び箱」「水泳」を好きな（得意な）運動に挙げている児童が多い。体づくりでは他領域では扱われにくい動きを扱う。フープ、短なわ、一輪車、竹馬などを使った動きを経験させ、用具の特性やできる楽しさを十分に味わわせていきたい。

⑦体育の時間に「うれしい」「楽しい」と感じる時はどのような時ですか？（複数回答可）



○「自分が得意なことをする時」「運動ができるようになった時」に嬉しさや楽しさを感じている児童が多い。本単元でも運動有能感や成功体験を味わえるような指導を行っていく。また、友達と教え合ったり励まし合ったりすること、運動の仕方を考えたりする思考力、判断力、表現力などへのアプローチも行っていく。

⑧次のうち、生活や運動しているときにやっていると思う動きはどれですか？（複数回答可）



○児童の運動経験をみると左図のような結果になった。新学習指導要領で新たに例示された「振る」動きは、日常の中での経験は多くはない。本単元を通して生活の中で扱われにくい動きを扱い、多様な動きの習得につなげていきたい。

(6) 単元の指導と評価の計画

| 時 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 (本時) | 11 | 12 | 13 (本時) | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | | |
|-------------|---|---------------------------------|--|----|---|----|--|----|--|---------|---|----|--|----|---|----|--------------|----|--------------|----|---|
| 段階 | | | 序盤 | 中盤 | 終盤 | 序盤 | 中盤 | 終盤 | 序盤 | | 中盤 | | 終盤 | 序盤 | | 中盤 | | 終盤 | | | |
| 学習内容 ・活動 | 体ほぐしの運動 | | ○体のバランスをとる運動 「回る、渡る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つなどの動き」 ○体を移動する運動 「這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動き」 ○基本的な動きを組み合わせる運動 「バランスをとりながら移動する動き」 | | | | | | ○用具を操作する運動 棒・タオル 「用具を投げる、捕る、振るなどの動き」 | | | | | | ○力試しの運動 「人を押す、引く動きや力比べをする動き」 「人を運ぶ、支える動き」 「物にぶら下がる動き」 | | | | | | |
| | ○一人でできる律動的な運動 ・いろいろウォーキングリズムに合わせて移動して、すれ違った友達とハイタッチをする。 ・五歩鬼 | | 学びを価値付ける時間 もう一度取り組む時間 | | | | | | 学びを価値付ける時間 もう一度取り組む時間 | | | | | | 学びを価値付ける時間 もう一度取り組む時間 | | | | | | |
| | ○2～3人でできる手軽な運動 ・ペアでストレッチ 体を伸ばしたり、呼吸を整えたりして、体の調子に気付く。 ○グループでできる手軽な運動 ・風船運び グループで手をつなぎ、風船を落とさずゴールを目指す。 ○全員でできる手軽な運動 ・だるまさんが止まった 「だるまさんが・・・」と言う代わりにボールを使う。教師がボールを持っている時はストップ、ボールが手から離れている時だけ動ける。ゴールまでたどり着けるようにグループで協力する。 | | ○用具を操作する運動 竹馬・一輪車・大きなボール 「用具に乗る動き」 | | ○用具を操作する運動 ボール 「用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、はさんで運ぶ」 ○基本的な動きを組み合わせる運動 「投げ上げたボールを移動して捕る」 | | ○用具を操作する運動 フープ 「用具を投げる、捕る、転がす、くぐる、運ぶなどの動き」 ○基本的な動きを組み合わせる運動 「輪を回しながら歩くなどの動き」 | | ○用具を操作する運動 短なわ・長なわ 「用具を跳ぶなどの動き」 ○基本的な動きを組み合わせる運動 「移動しながら跳ぶ動き」 「跳びながらバランスをとるなどの動き」 | | | | | | | | | | | | |
| | | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | やってみる / 工夫する | | |
| | | | ○補助付きで乗る。 竹馬・一輪車 ・友達と一緒に進む。 ・コースを進む。 大きなボール ・3人で手をつないで乗る。 ・いろいろな転がり方をする。など | | ○いろいろやってみる。 ※自分がやりたい動きを十分に味わうことができるよう時間を確保する。 | | ○めあて（自分のやりたい動き）をもって取り組む。 ・片手で捕る。 ・背中で捕る。 ・床タッチして捕る。 ・走って捕る。 ・ジャンプして捕る。など | | ○いろいろやってみる。 ※自分がやりたい動きを十分に味わうことができるよう時間を確保する。 | | ○めあて（自分のやりたい動き）をもって取り組む。 ・反対の手で行う。 ・体のいろいろな部位で回す。 ・走りながら回す。 ・後ろ向きに歩きながら回す。 ・バックspinをかけて転がして跳ぶ。 ・友達と一緒に進む。など | | ○いろいろやってみる。 ※自分がやりたい動きを十分に味わうことができるよう時間を確保する。 | | ○めあて（自分のやりたい動き）をもって取り組む。 ・跳び方を変えて進む。 ・友達とシンクロして跳ぶ。 ・友達が回したなわに入って跳ぶ。 ・なわに入る・抜ける方向を変える。 ・回転しながら跳ぶ。など | | | | | | |
| | | 学 び を 価 値 付 け る 時 間 (1 ~ 2 回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | も う 一 度 取 り 組 む 時 間 (1 ~ 2 回) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価の重点 | 知識及び技能 | | | ① | ②④ | | ① | ③ | ③⑥ | | | | ④⑥ | | | | | | ⑤⑥ | | |
| | 思考力、判断力、表現力 | | | | ②③ | | | ②③ | | | ②④ | | ③ | ①⑤ | | | ②③ | | ④ | ①⑤ | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | | ①② | ③⑤ | | ① | ①② | | ③⑤ | ① | ①② | | | ④ | ④ | ① | ①② | | ④ | ④ |

(8) 一単位時間の流れ

第3学年「多様な動きをつくる運動」(9/18時間)

① 本時のねらい

【学びに向かう力,人間性等】運動に進んで取り組み、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合って運動することができるようにする。

② 本時の展開

| 学習活動 | ○指導のポイント ◎配慮児童への支援 | ☆評価 |
|---|--|--|
| <p>1 学習の流れ、めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> いろいろな動きをやってみよう </div> <p>2 準備運動をする。(豊葉忍術学園)</p> | <p>○健康観察、服装等を確認する。 ○学習の流れを掲示して、児童に見通しをもたせる。 ○児童が夢中になって運動に取り組めるような楽しさを散りばめる。学習環境を整え、わくわくするような単元設定や掲示物の工夫を行う。 ○いろいろな動きをして体の部位をほぐすことができるようにする。曲に合わせて体を動かし、体の部位をほぐしたり、元気に声を出したりして、心と体をスイッチオンできるようにする。 ○大きく体を動かしている児童や元気よく声を出している児童を称賛する。</p> | |
| <p>3 「用具を操作する運動」に取り組む。(タオル・棒)</p> | <p>○準備運動からの流れを大切に、児童の活動を止めない。曲をかけて、身に付けさせたい動きを楽しく経験させていく。タオルを大きく振っている児童や投げ上げたタオルを上手に捕っている児童を称賛する。 ○危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全管理をする。 ◎うまくいかない児童には、友達の動きを真似させたり、こつやポイントについて言葉掛けしたりして支援する。 ○「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に友達と認め合い仲よく安全に運動できるように言葉掛けを行う。</p> | |
| <p>4 「用具を操作する運動」に取り組む。(フープ)</p> <p>○フープを回す、転がす、投げる、捕る動きをやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回す 右腕、左手、両手、お腹、足など ・転がす 前向き、横向き、片手、両手、下から、上からなど ・投げる、捕る 片手、両手、一回転、高く、低く、遠くへ など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学びを価値付ける時間① 回す、転がす動きでこつをつかんでいる児童 ○もう一度取り組む。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学びを価値付ける時間② 回す、転がす動きでこつをつかんでいる児童 (必要に応じて複数回行う) ○もう一度取り組む。 </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> やってみる時間 「いろいろな動きをやってみよう。」 ○場の安全に気を付けて運動するように言葉掛けを行う。 ○やってみる時間を十分に確保して、たくさんの動きを経験させる。 ◎フープに対する恐怖心を感じにくくするために、大きさの異なるフープを用意し、選べるようにする。 ○一生懸命運動している児童や友達と仲よく一緒に運動している児童を称賛し、認め合う雰囲気をつくる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学びを価値付ける時間 「とても上手な人がいたから紹介するよ。」 「どうやったら、そんなに上手にできるようになったの？」 ○運動の途中で、学びを価値付ける時間を設定し、ねらいに基づいた児童の姿を取り上げ共有する。「動きのこつ」や「行い方の工夫」などのよい動きだけでなく、学び方を価値付け、主体的・協働的に学ぶ姿を促すようにする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> もう一度取り組む時間 「みんなもできそう？ もう一度やってみよう。」 ○やってみたい動きにもう一度取り組む時間を確保する。 ○友達の真似をしたり、行い方を工夫しているいろいろな動きをやってみたりしている児童を称賛する。 ◎うまくいかない児童には、動きのポイントについて言葉を掛け、教師も一緒に行い支援する。 </div> | <p>☆運動に進んで取り組み、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 (観察・学習カード)</p> |
| <p>5 後片付け・整理運動をする。</p> | <p>○安全にフープを片付けられるように言葉掛けをする。 ○落ち着いてクールダウンをし、使った部位をほぐすように言葉掛けをする。</p> | |
| <p>6 振り返りをする。</p> | <p>○【学びに向かう力,人間性等】の観点でよかったことを振り返る。</p> | |

本時

第3学年「多様な動きをつくる運動」(10/18時間)

3年1組(29名)

最初の30分を実施します。

① 本時のねらい

【思考力, 判断力, 表現力等】人数や用具などの条件を変えて運動し、友達の行い方を真似したり、それを修正したりしながら、自己に適した行い方を選ぶことができるようにする。

② 本時の展開

| 学習活動 | ○指導のポイント ◎配慮児童への支援 | ☆評価 |
|--|--|---|
| <p>1 学習の流れ、めあての確認をする。</p> <p>フープを回したり、転がしたりしよう</p> <p>2 準備運動をする。(豊葉忍術学園)</p> | <p>○健康観察、服装等を確認する。</p> <p>○学習の流れを掲示して、児童に見通しをもたせる。</p> <p>○前時のよかった姿を【知識及び運動】【思考力, 判断力, 表現力等】【学びに向かう力, 人間性等】の三つの資質・能力から紹介する。</p> <p>○いろいろな動きをして体の部位をほぐすことができるようにする。曲に合わせて体を動かし、体の部位をほぐしたり、元気に声を出したりして、心と体をスイッチオンできるようにする。</p> <p>○大きく体を動かしている児童や元気よく声を出している児童を称賛する。</p> | |
| <p>3 「用具を操作する運動」に取り組む。(タオル・棒)</p> | <p>○準備運動からの流れを大切に、児童の活動を止めない。曲をかけて、身に付けさせたい動きを楽しく経験させていく。タオルを大きく振っている児童や投げ上げたタオルを上手に捕っている児童を称賛する。</p> <p>○危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全管理をする。</p> <p>◎うまくいかない児童には、友達の動きを真似させたり、こつやポイントについて言葉を掛けたりして支援する。</p> <p>○「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に友達と認め合い仲よく安全に運動できるように言葉掛けを行う。</p> | |
| <p>4 「用具を操作する運動」に取り組む。(フープ)</p> <p>「基本的な動きを組み合わせる運動」に取り組む。</p> <p>○フープを回したり、転がしたりする動きに取り組む。</p> <p>○移動しながら回したり、転がしたりする動きに取り組む。</p> <p>○めあて(自分がやりたい動き)をもつて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回す+移動 右腕(左腕)で回しながら歩く、腰で回しながら歩く、両手や片手で回しながらスキップする、足で回しながら走るなど ・転がす+移動 転がしたフープをジャンプする。転がしたフープをくぐるなど <p>学びを価値付ける時間①</p> <p>回す+移動、転がす+移動という組み合わせの行い方</p> <p>○もう一度取り組む。</p> <p>学びを価値付ける時間②</p> <p>移動することが上手な児童</p> | <p>やってみる時間</p> <p>「今日もフープを回したり転がしたりしてみよう。」</p> <p>○場の安全に気を付けて運動するように言葉掛けを行う。</p> <p>○やってみる時間を十分に確保して、たくさんの動きを経験させる。</p> <p>◎前時に共有したこつやポイントをもう一度確認し、教師も一緒に行い支援する。</p> <p>○一生懸命運動している児童や友達と仲よく一緒に運動している児童を称賛し、認め合う雰囲気をつくる。</p> <p>学びを価値付ける時間</p> <p>「かっこいい動きをしている人がいたので紹介します。」</p> <p>「移動するのがとても上手な人がいたよ。」</p> <p>「どうやったらできるようになったの?」</p> <p>○運動の途中で、学びを価値付ける時間を設定し、ねらいに基づいた児童の姿を取り上げ共有する。「動きのこつ」や「行い方の工夫」などのよい動きだけでなく、学び方を価値付け、主体的・協働的に学ぶ姿を促すようにする。</p> <p>もう一度取り組む時間</p> <p>「もう一度やってみよう。」</p> | <p>☆人数や用具などの条件を変えて運動し、友達の行い方を真似したり、それを修正したりしながら、自己に適した行い方を選んでいく。</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力】 (観察・発言・学習カード)</p> |
| <p>○もう一度取り組む。</p> | <p>○やってみたい動きにもう一度取り組む時間を確保する。</p> <p>○友達の真似をしたり、行い方を工夫して、いろいろな動きをやってみたりしている児童を称賛する。</p> <p>◎うまくいかない児童には、動きのポイントについて言葉を掛け、教師も一緒に行い支援する。</p> | |
| <p>5 後片付け・整理運動をする。</p> | <p>○安全にフープを片付けられるように言葉掛けをする。</p> <p>○落ち着いてクールダウンをし、使った部位をほぐすように言葉掛けをする。</p> | |
| <p>6 振り返りをする。</p> | <p>○【思考力, 判断力, 表現力】の観点でよかったことを振り返る。</p> | |

第3学年「多様な動きをつくる運動」(11/18時間)

① 本時のねらい

- 【思考力, 判断力, 表現力等】友達と動きを合わせる行い方を選ぶことができるようにする。
【学びに向かう力, 人間性等】友達の考えや取組を認めることができるようにする。

② 本時の展開

| 学習活動 | ○指導のポイント ◎配慮児童への支援 | ☆評価 |
|---|---|--|
| <p>1 学習の流れ、めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">フープを回しながら移動しよう</div> <p>2 準備運動をする。(豊葉忍術学園)</p> | <p>○健康観察、服装等を確認する。 ○学習の流れを掲示して、児童に見通しをもたせる。 ○前時のよかった姿を【知識及び運動】【思考力, 判断力, 表現力等】【学びに向かう力, 人間性等】の三つの資質・能力から紹介する。 ○いろいろな動きをして体の部位をほぐすことができるようにする。曲に合わせて体を動かし、体の部位をほぐしたり、元気に声を出したりして、心と体をスイッチオンできるようにする。 ○大きく体を動かしている児童や元気よく声を出している児童を称賛する。</p> | |
| <p>3 「用具を操作する運動」に取り組む。(タオル・棒)</p> | <p>○準備運動からの流れを大切に、児童の活動を止めない。曲をかけて、身に付けさせたい動きを楽しく経験させていく。タオルを大きく振っている児童や投げ上げたタオルを上手に捕っている児童を称賛する。 ○危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全管理をする。 ◎うまくいかない児童には、友達の動きを真似させたり、こつやポイントについて言葉を掛けたりして支援する。 ○「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に友達と認め合い仲よく安全に運動できるように言葉掛けを行う。</p> | |
| <p>4 「基本的な動きを組み合わせる運動」に取り組む。(フープ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○回しながら移動する動きに取り組む。</div> <p>○めあて(自分がやりたい動き)をもって取り組む。 ・回す+移動 右腕(左腕)で回しながら歩く、腰で回しながら歩く、両手や片手で回しながらスキップする、足で回しながら走る、二人で(人数)など</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学びを価値付ける時間①</div> <p>回す+移動という組み合わせの行い方そのときのこつやポイント</p> <p>○もう一度取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学びを価値付ける時間②</div> <p>回す+移動という組み合わせの行い方そのときのこつやポイント</p> <p>○もう一度取り組む。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">やってみる時間</div> <p>「今日はフープを回しながら移動をしてみよう。」</p> <p>○場の安全に気を付けて運動するように言葉掛けを行う。 ○やってみる時間を十分に確保して、たくさんの動きを経験させる。 ◎前時に共有した行い方やこつ、ポイントをもう一度確認し、教師も一緒に行い支援する。 ○一生懸命運動している児童や友達と仲よく一緒に運動している児童を称賛し、認め合う雰囲気をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学びを価値付ける時間</div> <p>「とても上手な人がいたので紹介します。」 「どうやったらできるようになったの?」</p> <p>○運動の途中で、学びを価値付ける時間を設定し、ねらいに基づいた児童の姿を取り上げ共有する。「動きのこつ」や「行い方の工夫」などのよい動きだけでなく、学び方を価値付け、主体的・協働的に学ぶ姿を促すようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">もう一度取り組む時間</div> <p>「みんなも真似して、もう一度やってみよう。」</p> <p>○やってみたい動きにもう一度取り組む時間を確保する。 ○友達の真似をしたり、行い方を工夫して、いろいろな動きをやってみたりしている児童を称賛する。 ◎うまくいかない児童には、動きのポイントについて言葉を掛け、教師も一緒に行い支援する。 ◎運動の行い方が分からない児童には、友達と一緒に運動することを促す。</p> | <p>☆友達の行い方を真似したり、それを修正したりしながら、自己に適した行い方を選んでいる。 【思考力, 判断力, 表現力】 (観察・発言・学習カード)</p> <p>☆友達の考えや取組を認めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (観察・発言・学習カード)</p> |
| <p>5 後片付け・整理運動をする。</p> | <p>○安全にフープを片付けられるように言葉掛けをする。 ○落ち着いてクールダウンをし、使った部位をほぐすように言葉掛けをする。</p> | |
| <p>6 振り返りをする。</p> | <p>○【思考力, 判断力, 表現力等】【学びに向かう力, 人間性等】の観点でよかったことを振り返る。</p> | |

第3学年「多様な動きをつくる運動」(12/18時間)

① 本時のねらい

●【思考力, 判断力, 表現力等】動きのこつやポイント、行い方について、考えたり見付けたりしたことを友達に伝えることができるようにする。

【学びに向かう力, 人間性等】友達の考えや取組を認めることができるようにする。

② 本時の展開

| 学習活動 | ○指導のポイント ◎配慮児童への支援 | ☆評価 |
|--|--|--|
| <p>1 学習の流れ、めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">フープを転がしながら移動しよう</div> <p>2 準備運動をする。(豊葉忍術学園)</p> | <p>○健康観察、服装等を確認する。 ○学習の流れを掲示して、児童に見通しをもたせる。 ○前時のよかった姿を【知識及び運動】【思考力, 判断力, 表現力等】【学びに向かう力, 人間性等】の三つの資質・能力からバランスよく紹介する。 ○いろいろな動きをして体の部位をほぐすことができるようにする。曲に合わせて体を動かし、体の部位をほぐしたり、元気に声を出したりして、心と体をスイッチオンできるようにする。 ○大きく体を動かしている児童や元気よく声を出している児童を称賛する。</p> | |
| <p>3 「用具を操作する運動」に取り組む。(タオル・棒)</p> | <p>○準備運動からの流れを大切に、児童の活動を止めない。曲をかけて、身に付けさせたい動きを楽しく経験させていく。タオルを大きく振っている児童や投げ上げたタオルを上手に捕っている児童を称賛する。 ○危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全管理をする。 ◎うまくいかない児童には、友達の動きを真似させたり、こつやポイントについて言葉を掛けたりして支援する。 ○「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に友達と認め合い仲よく安全に運動できるように言葉掛けを行う。</p> | |
| <p>4 「基本的な動きを組み合わせる運動」に取り組む。(フープ)</p> <p>○転がしながら移動する動きに取り組む。 ○めあて(自分がやりたい動き)をもって取り組む。 ・転がす+移動 転がしたフープをジャンプする。転がしたフープをくぐるなど</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学びを価値付ける時間① 転がす+移動という組み合わせの行い方そのときのこつやポイント ○もう一度取り組む。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学びを価値付ける時間② 転がす+移動という組み合わせの行い方そのときのこつやポイント ○もう一度取り組む。 </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> やってみる時間 「今日はフープを転がしながら移動をしてみよう。」 ○場の安全に気を付けて運動するように言葉掛けを行う。 ○やってみる時間を十分に確保して、たくさんの動きを経験させる。 ○一生懸命運動している児童や友達と仲よく一緒に運動している児童を称賛し、認め合う雰囲気をつくる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学びを価値付ける時間 「とても上手な人がいたので紹介します。」 「どうやったらできるようになったの？」 ○運動の途中で、学びを価値付ける時間を設定し、ねらいに基づいた児童の姿を取り上げ共有する。「動きのこつ」や「行い方の工夫」などのよい動きだけでなく、学び方を価値付け、主体的・協働的に学ぶ姿を促すようにする。 ○友達にこつやポイントを伝えている姿を称賛する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> もう一度取り組む時間 「みんなも真似して、もう一度やってみよう。」 ○やってみたい動きにもう一度取り組む時間を確保する。 ○友達の真似をしたり、行い方を工夫して、いろいろな動きをやってみたりしている児童を称賛する。 ◎うまくいかない児童には、動きのポイントについて言葉を掛け、教師も一緒に行い支援する。 ◎運動の行い方が分からない児童には、友達と一緒に運動することを促す。 </div> | <p>☆動きのこつやポイント、行い方について、考えたり見付けたりしたことを友達に伝えている。 【思考力, 判断力, 表現力】 (観察・発言・学習カード)</p> <p>☆友達の考えや取組を認めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (観察・発言・学習カード)</p> |
| <p>5 後片付け・整理運動をする。</p> | <p>○安全にフープを片付けられるように言葉掛けをする。 ○落ち着いてクールダウンをし、使った部位をほぐすように言葉掛けをする。</p> | |
| <p>6 振り返りをする。</p> | <p>○【思考力, 判断力, 表現力等】【学びに向かう力, 人間性等】の観点でよかったことを振り返る。</p> | |

本時

第3学年「多様な動きをつくる運動」(13/18時間)

3年2組(29名)

「基本的な動きを組み合わせる運動」から30分を実施します。

① 本時のねらい

- 【知識及び運動】フープを回しながら歩いたり走ったり、フープを転がし、転がるフープの中をくぐり抜けたり、跳び越したりすることができるようにする。

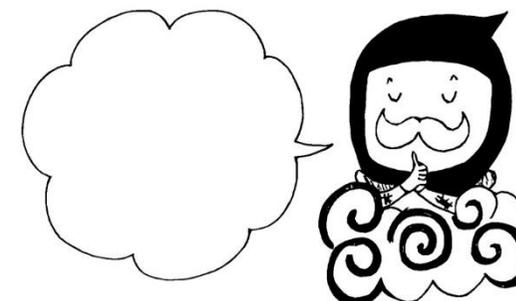
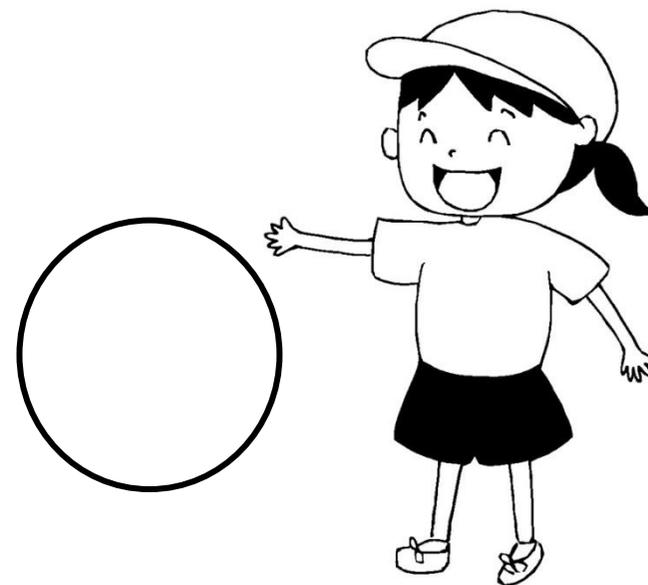
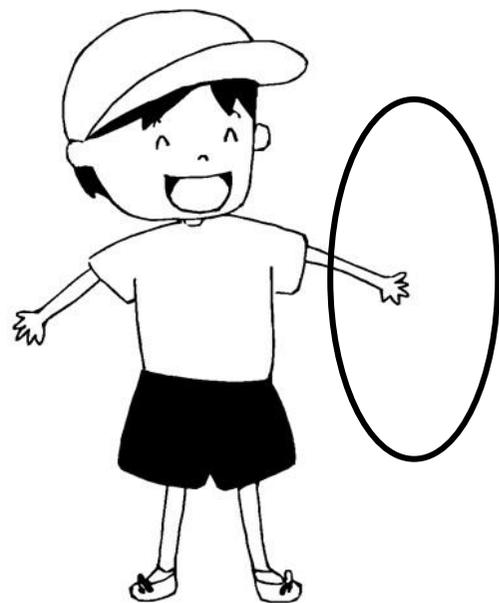
【学びに向かう力, 人間性等】運動に進んで取り組むことができるようにする。

② 本時の展開

| 学習活動 | ○指導のポイント ◎配慮児童への支援 | ☆評価 |
|--|--|---|
| <p>1 学習の流れ、めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">できる動きをふやそう</div> <p>2 準備運動をする。(豊葉忍術学園)</p> | <p>○健康観察、服装等を確認する。 ○学習の流れを掲示して、児童に見通しをもたせる。 ○前時のよかった姿を【知識及び運動】【思考力, 判断力, 表現力等】【学びに向かう力, 人間性等】の3観点から紹介する。 ○いろいろな動きをして体の部位をほぐすことができるようにする。曲に合わせて体を動かし、体の部位をほぐしたり、元気に声を出したりして、心と体をスイッチオンできるようにする。 ○大きく体を動かしている児童や元気よく声を出している児童を称賛する。</p> | |
| <p>3 「用具を操作する運動」に取り組む。(タオル・棒)</p> | <p>○準備運動からの流れを大切に、児童の活動を止めない。曲をかけて、身に付けさせたい動きを楽しく経験させていく。タオルを大きく振っている児童や投げ上げたタオルを上手に捕っている児童を称賛する。 ○危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかななどの場の安全管理をする。 ◎うまくいかない児童には、友達の動きを真似させたり、こつやポイントについて言葉を掛けたりして支援する。 ○「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に友達と認め合い仲よく安全に運動できるように言葉掛けを行う。</p> | |
| <p>4 「基本的な動きを組み合わせる運動」に取り組む。(フープ)</p> <p>○移動しながら回したり、転がしたりする動きに取り組む。 ○めあて(自分がやりたい動き)をもって取り組む。</p> <p>〈前半〉〈後半〉※動きを選択して行う。 ・回す+移動 右腕(左腕)で回しながら歩く、腰で回しながら歩く、両手や片手で回しながらスキップする、足で回しながら走る、二人で(人数)など ・転がす+移動 転がしたフープをジャンプする。転がしたフープをくぐるなど</p> <p>学びを価値付ける時間①〈前半の途中〉 こつやポイントを友達と教え合ったり伝え合ったりしている姿 ○もう一度取り組む。</p> <p>学びを価値付ける時間②〈前半・後半の入れ替えの時〉 友達との活動で気付きを共有している姿 ○もう一度取り組む。</p> | <p>やってみる時間 「今日は、フープを回したり転がしたりして運動するよ。」 「自分のめあてをもって、できる動きをふやそう。」</p> <p>○場の安全に気を付けて運動するように言葉掛けを行う。 ○一生懸命運動している児童や友達と仲よく一緒に運動している児童を称賛し、認め合う雰囲気をつくる。 ○友達とこつやポイントを教え合ったり、伝え合ったりしている児童を称賛する。</p> <p>学びを価値付ける時間 「友達とこんなやりとりをしている人がいたよ。」 ○「どうやってやるの?」「こうやってやるとやりやすいよ。」など教え合ったり伝え合ったりしている姿を共有する。</p> <p>○運動の途中で、学びを価値付ける時間を設定し、ねらいに基づいた児童の姿を取り上げ共有する。「動きのこつ」や「行い方の工夫」などのよい動きだけでなく、学び方を価値付け、主体的・協働的に学ぶ姿を促すようにする。</p> <p>もう一度取り組む時間 「上手な友達にこつを聞くと、できる動きが増えるね。もう一回やってみよう。」</p> <p>○友達とこつやポイントを伝え合っている姿を称賛する。 ○やってみたい動きにもう一度取り組む時間を確保する。 ○友達の真似をしたり、行い方を工夫して、いろいろな動きをやってみたりしている児童を称賛する。 ◎教え合い伝え合いが苦手な児童には、動きのポイントについて言葉を掛け、教師も一緒に言い支援をする。また、友達と一緒に運動することを促す。</p> | <p>☆運動に進んで取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察・学習カード)</p> <p>☆フープを回しながら歩いたり走ったり、フープを転がし、転がるフープの中をくぐり抜けたり、跳び越したりすることができる。 【知識及び技能】(観察)</p> |
| <p>5 後片付け・整理運動をする。</p> <p>6 振り返りをする。</p> | <p>○安全にフープを片付けられるように言葉掛けをする。 ○落ち着いてクールダウンをし、使った部位をほぐすように言葉掛けをする。 ○【知識及び運動】【学びに向かう力, 人間性等】の観点でよかったことを振り返る。 ○5時間で何ができるようになったかを振り返るように言葉を掛ける。</p> | |

いろいろな動きをやってみよう ^{まき}の巻

3年 組 ()



すすんで運動することができた



フープを使って、いろいろな動きをすることができた

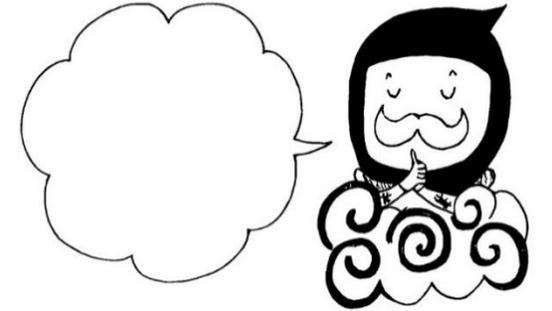
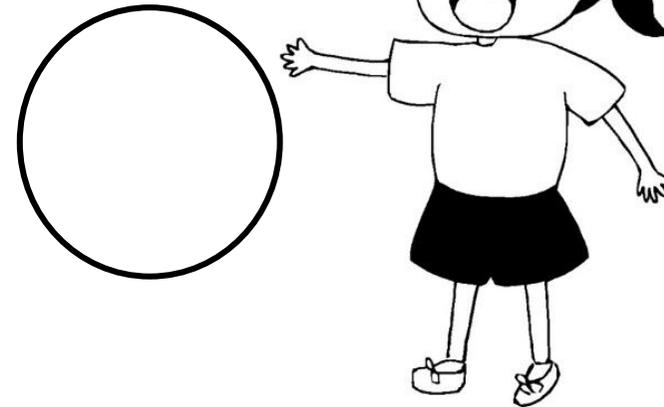
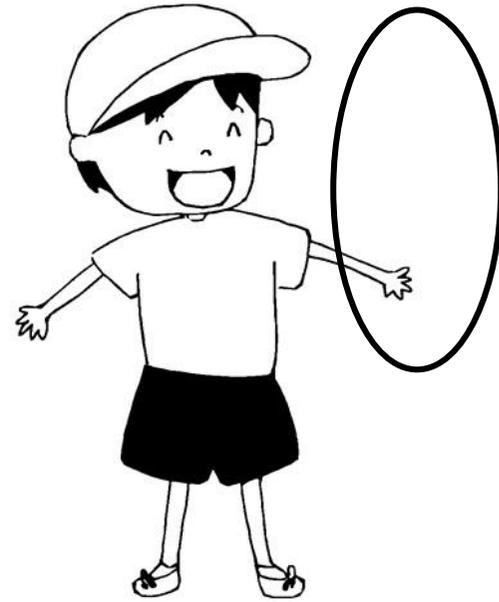


学習感想

Blank lines for writing learning reflections.

フープを回したり、転がしたりしよう ^{まき}の巻

3年 組 ()



動きをくふうして取り組んだ

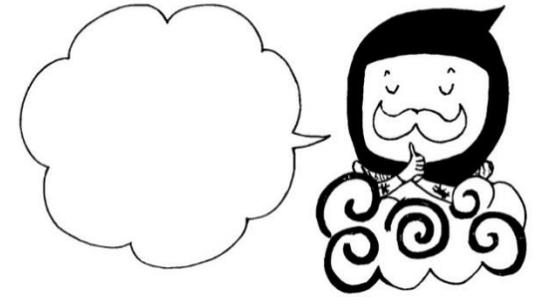
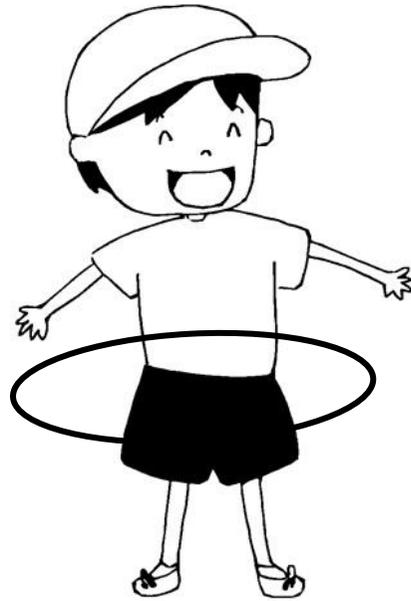


学習感想

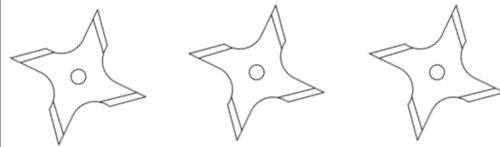
Blank area for writing learning reflections, divided into three horizontal sections by lines.

フープを回しながら移動しよう ^{いどう}の巻 ^{まき}

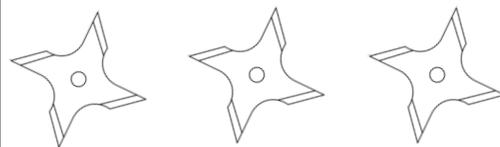
3年 組 ()



友達の動きをまねしたり、
できるようになりたい動き
に取り組んだりした



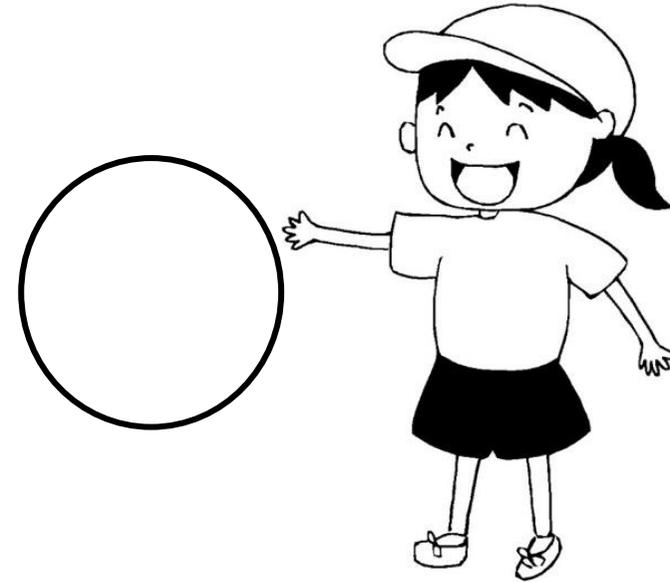
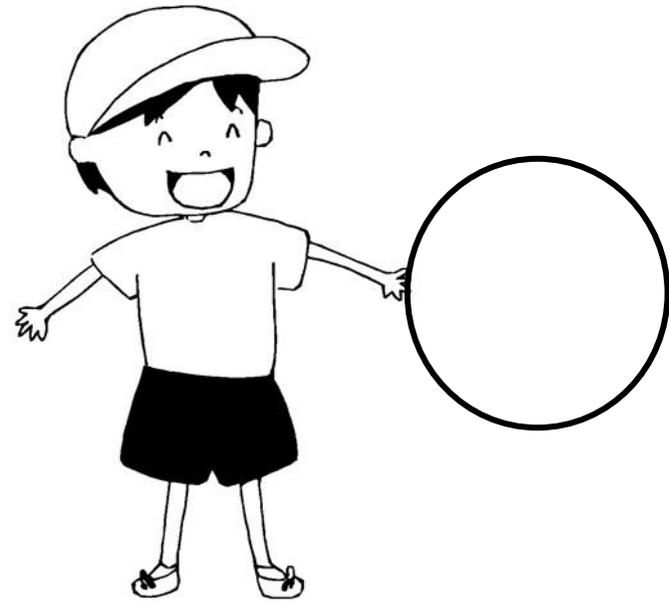
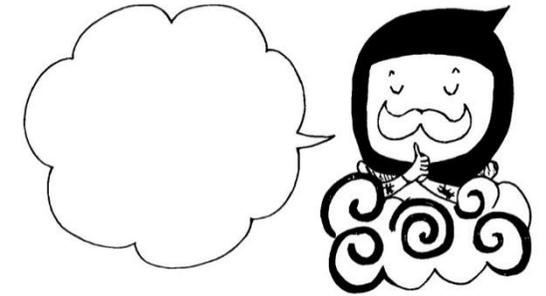
友達の動きを見たり、考え
を聞いたりすることができ
た



学習感想

フープを転がしながら移動しよう ^{いどう}の巻 ^{まき}

3年 組 ()

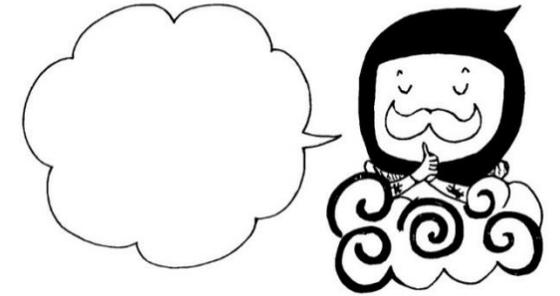


| | |
|---------------------------|---|
| 動きのこつを見つけ、友達に伝えることができた | Three identical five-pointed star-shaped icons arranged horizontally. |
| 友達の動きを見たり、考えを聞いたりすることができた | Three identical five-pointed star-shaped icons arranged horizontally. |

学習感想

まきの
の巻

3年 組 ()



| | |
|-----------------------|--|
| いろいろな動きができる ようになった | |
| すすんで楽しく運動する ことができた | |

学習感想
